



♪ 大阪府立中央図書館だより

はるみや

1997.12 No.3



新しい文化の 発信

名誉館長 上田 正昭

1996年(平成8年)の5月10日、全国の自治体で最大規模の大坂府立中央図書館がオープンしました。1991年から大阪府の図書館協議会委員のひとりとして、大阪府立の図書館の運営には多少の協力をしてまいりましたが、1991



年の6月から2期(6年)勤務しました大阪府立の大坂女子大学学長を退任して、ひとまず安堵しておりましたところ、大阪府の要請もあって、はからずも本年の6月1日付で、本館の名誉館長に就任することとなりました。高度情報化社会と生涯学習の展開に対応する図書館として、本館がますます充実し発展することを念じてやみません。

本館が立地する中河内は、私にとりましても、えにしの深い地域です。1967年の1月に、角川書店から『大和朝廷』を出版しましたが(1995年の8月に講談社学術文庫として刊行)、その著書のなかでもっとも強調し



春日若宮神社



枚岡神社

ましたのは、5世紀の倭国の王権の基盤が河内に存在したことの論証でした。この仮説が、いわゆる河内王朝説と称されている学説です。奈良市の春日大社は全国の春日明神の総本社ともいるべき古社ですが、延長5年(927)に完成しました『延喜式』の春日祭の祝詞にも明らかのように、枚岡神社の祭神が平城京に勧請されて、春日祭神の天兒屋根命と比売神として祭祀されることになります。枚岡神社が元春日と呼ばれておりますのも、こうしたいわが存在しているからです。中臣氏(藤原氏)は、その本拠を河内から摂津においていた時代があります。本館の所在する東大阪市に、枚岡神社そして春日若宮神社が鎮座し、春宮(はるみや)という地名が形づくられてくる歴史と文化を改めて想起します。

これから図書館は、利用者の皆さんのご要望に応えると共に、生涯学習のあらたな文化の発信基地たりうるように努力しなければなりません。